

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
島原市	大三東地区(三之沢・東空閑・大野・高野)	令和4年1月13日	—

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	626 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	374 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	212 ha
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	193 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	67 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

大三東地区は、地区を流れる大小数本の河川沿いの水田の他は、大部分が畑地であり、肥沃な土壌を生かし人参、大根等の露地野菜をはじめ、施設園芸についても大変盛んなところである  
 今後も三会地区と共に市の中心的な野菜産地として農地の利用率向上を図る必要がある  
 施設経営者の後継者は多く、露地経営者の後継者は少なくなっており、二極化が進んでいる  
 施設野菜が多い地域は基盤整備の話が進まず、露地野菜が多い地域は基盤整備に取り組む計画が進んでいる  
 中心経営体はいるが十分ではない

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

圃場整備等を活用し、担い手の分散錯圃を解消する  
 後継者がいない場合は、農地中間管理機構を活用し、担い手への集積・集約化を図る

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける  
 中心経営体のうち、野菜農家は外国人労働を取り入れ耕作地の規模を拡大し、農業経営の安定化を目指す  
 中心経営体のうち、酪農、肉牛、養豚、養鶏の畜産は、機械化や優良種の導入により安定経営を目指す  
 新規就農者については、補助事業等を活用し、経営開始に必要な機械・施設の整備を図る  
 今後も地域農業者による継続した話し合いにより、プランの変更を図る